「万物は御子において造られた」　　2019年03月07日

コロサイの信徒への手紙1章9節～17節　こういうわけで、そのことを聞いたときから、わたしたちは、絶えずあなたがたのために祈り、願っています。どうか、“霊”によるあらゆる知恵と理解によって、神の御心を十分悟り、すべての点で主に喜ばれるように主に従って歩み、あらゆる善い業を行って実を結び、神をますます深く知るように。そして、神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、どんなことも根気強く耐え忍ぶように。喜びをもって、光の中にある聖なる者たちの相続分に、あなたがたがあずかれるようにしてくださった御父に感謝するように。御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られたからです。つまり、万物は御子によって、御子のために造られました。御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。

「著者」は、「そのこと」、すなわち、コロサイ教会の信徒たちがキリストへの篤い信仰を持ち、キリストの愛に倣い、互いに愛し合う交わりを形成していることを聞いて、神に感謝していると書き、「絶えずあなたがたのために祈り、願っています」と伝えている。その祈りは三つである。一つは、「“霊”によるあらゆる知恵と理解によって、神の御心を十分悟り、すべての点で主に喜ばれるように主に従って歩み、あらゆる善い業を行って実を結び、神をますます深く知るように」である。聖霊による知恵と理解によって、神の御心を悟り、主イエスに喜ばれるように歩み、善い業を行って福音の果実を豊かに結び、ますます神を深く知ることができるようにという祈りである。二つ目は、「神の栄光の力に従い、あらゆる力によって強められ、どんなことも根気強く耐え忍ぶように」である。神の力を信じることにより、どんな困難にも強くされ、耐え忍ぶことができるようにという祈りである。三つ目は、「喜びをもって、光の中にある聖なる者たちの相続分に、あなたがたがあずかれるようにしてくださった御父に感謝するように」である。光の中を忍耐して生きる聖徒たちには喜びがある。それは神からの永遠の命に与る相続分が約束されていることである。約束してくださった神に感謝するようにという祈りである。

イエス・キリストの父なる神は、私たちを闇の力から救い出して、御子イエスの支配下に移してくださった。御子イエスの十字架の死によって、罪が贖われ、赦しの愛の下に移されたのである。この御子イエスについて、「著者」は、「御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られたからです。つまり、万物は御子によって、御子のために造られました。御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています」と解き明かしている。ヨハネ福音書のロゴス・キリスト論にそっくりである。ヨハネ福音書は紀元90年代に書かれたが、60年頃、コロサイ書で既に、キリストは創造の前に先在し、キリストが、キリストのために全てを創造し、キリストによって全てが支えられているという宇宙的キリストが告白されている。